

ご報告：2017年度スリランカ民主社会主義共和国消防車寄贈事業

2017年度海外援助事業として、スリランカ民主社会主義共和国のスリランカ投資委員会（BOI）へ日本の自治体より無償譲渡を受けた消防車8台を寄贈しました。

車両現地到着後の2019年12月、消防技術研修を兼ねて車両の確認を行いましたので、併せてご報告いたします。

<写 真>

<p>1</p> <p><研修></p> <p>参加した隊員たちへ操作要領を説明する成田市消防本部OBの大竹一夫氏（中央右）</p> <p>スリランカにおける政権交代、中古自動車輸入規制などの事情で寄贈実施は約1年後ろ倒しとなった。</p>	
<p>2</p> <p><研修></p> <p>放水訓練</p> <p>車両は成田市供出のポンプ積載車（スリランカ向けに合計2台寄贈）。輸出加工区内の各企業やアクセス路など、狭く奥まった場所でも戦力となっている。</p>	

<p>3</p> <p><研修></p> <p>ホース延長と放水姿勢の取り方を説明する成田市消防本部OBの吉岡康夫氏（中央）</p> <p>水利は研修会場となったカトゥナヤカ輸出加工区（EPZ）内の日系企業から防火水槽を借用した。</p> <p>カトゥナヤカEPZには110を超える日系企業が進出しており、消防防災能力の維持・発展は欠かせない。</p>		
<p>4</p> <p><研修></p> <p>路上での実施訓練</p> <p>複数の車両による連携操作要領を協力して確認した。</p> <p>車両は左端から愛媛県西条市供出の水槽付ポンプ車、鹿児島県薩摩川内市、神奈川県相模原市供出（同型車両計2台として寄贈）のポンプ車。</p>		
<p>5</p> <p><修了式></p> <p>研修修了のスピーチをする在スリランカ日本大使館五十嵐 徹二等書記官</p> <p>スリランカ投資委員会（BOI）はかねてから消防能力強化ために尽力し、弊協会は2014年度にも同委員会へ消防車5台を寄贈した。</p>		

<p>6</p>	<p><修了式></p> <p>指導員の大竹氏と吉岡氏から自信に満ちた表情で修了証書を受け取る参加者</p> <p>右端に（一社）日本外交協会寺田恭子事務局長</p>	
<p>7</p>	<p><修了式></p> <p>研修参加者と指導員による集合写真</p> <p>右から3番目に寺田事務局長、左に参加者を挟んで吉岡氏、大竹氏</p>	
<p>8</p>	<p><寄贈物品></p> <p>埼玉県比企広域市町村圏組合供出の水槽車</p> <p>3トンの水槽は水利として、また備え付けの可搬ポンプで自前放水が可能。</p>	

<p>9</p>	<p><寄贈物品></p> <p>山武市供出のポンプ車</p> <p>山武市は2020年東京オリンピック開催に向けてホストタウンに登録し交流を深めている。</p>	
<p>10</p>	<p><寄贈物品></p> <p>防火服一式</p> <p>車両と併せて供出を受ける防火服（ヘルメット、しころ、上下衣、防火靴）を可能な限りセットして寄贈した。</p>	
<p>10</p>	<p><現地事情></p> <p>スリランカコロンボの街並み</p> <p>高層ビルも多く立ち並び、経済都市として発展を続けている。</p>	